

宝塚市立看護専門学校

学校案内



■学校概要

- 学 科／看護学科(3年課程 全日制)
- 定 員／1学年40名、総定員120名

- 設置者／宝塚市
- 実習施設／宝塚市立病院ほか

教育方針

1. 「学ぶ者」「学びを支える者」とともに人間への関心を深める

2. 「知」と「技」を磨き、「人としてのやさしさ」を育む

3. 科学的思考力および倫理的判断能力を身につけられるよう支援する

4. 自ら学ぶ姿勢と看護師としてのアイデンティティの形成を目指し支援する

■教育理念

本校は、宝塚市のすべての市民が健康で安心して暮らせる、人にやさしいまちづくりに貢献する質の高い看護師の育成を責務としている。看護は、様々な健康レベルにある個人及び家族を含む集団を対象とし、その人が望ましい健康状態を自ら回復し、維持、増進するように支援するヒューマンサービスである。また、看護の対象となった人々の社会生活を可能な限り豊かにしていくことが看護活動の基本理念である。

この考えに基づき、専門的知識、技術、態度を身につけられるよう支援し、適切な観察力と判断力を養うとともに生命の尊重と人間愛を基調とした豊かな人間性を育み、自分の考えをもった行動力のある人材育成を目指している。

アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)

1. 人を思いやることができ、他者と協調できる人
2. 看護師になろうという意志のある人
3. 何事にも興味関心を持ち、自分の考えを表現できる人
4. 目標達成のために自ら学び、困難な課題に直面してもあきらめず努力できる人
5. 地域での暮らしを大切にし、社会に貢献しようとする人



ディプロマポリシー (卒業認定に関する方針)

以下の能力を身につけた卒業生を送り出します

1. 多職種と連携し、地域に暮らす人々の命と生活を守るために考動できる力
2. 根拠に基づき、看護を実践する力
3. 人に関心を持ち、多様な人間を理解する力
4. 人間関係を構築する力
5. 自ら学び続ける力

卒業後の資格

■ 看護師国家試験の受験資格が得られます

■ 保健師、助産師学校の受験資格が得られます

■ 専門士(医療専門課程)と称することができます

■時間割

授業時間	1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目
	9 : 00～10 : 30	10 : 40～12 : 10	13 : 00～14 : 30	14 : 40～16 : 10

※臨地実習時間は原則として8 : 30～15 : 30

■演習風景



教員によるデモンストレーション



シーツ交換



足浴とシーツ交換



患者役の介助

■カリキュラムの概要

分野	1年次	2年次	3年次
基礎分野 看護の実践者としての豊かな人間性と広い視野、自らの判断で行動できる能力を養う。	表現と読解 人間関係のもと 心の働きと行動 人間生活とデザイン 情報科学 倫理のもと 宝塚学Ⅰ	統計のもと 発達心理と教育 生活と文化	健康とレクリエーション 医療と英語
専門基礎分野 看護の基礎として必要な知識を学び、広い視野に立って看護の展望ができる能力を養う。	形態機能学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 代謝と栄養Ⅰ・Ⅱ 保健と医療 疾病と治療Ⅰ・Ⅱ 人体とくすり 人体と微生物	疾病論 疾病と治療Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ 社会福祉 公衆衛生	看護と法 看護と経営 形態機能と看護 宝塚学Ⅱ
専門分野 看護の土台となる基礎的理論や看護実践のための基礎技術を学ぶ。 看護の対象及び目的を理解し、疾病の予防、健康の回復、保持増進に必要な看護の知識・技術・態度を学ぶ。働く場で実践される看護をイメージできるように学習を進めていく。	看護の特性論 看護の探究Ⅰ 看護の基礎技術 生活を支える看護技術Ⅰ・Ⅱ フィジカルアセスメント プロジェクト学習 臨床判断と看護過程 地域・在宅の看護特性論 地域での生活を支える看護Ⅰ おとなの看護特性論 クリティカルケアⅠ ヘルスプロモーション	看護倫理と安全Ⅰ 看護の探究Ⅱ 診断・治療を支える看護技術 こころの看護特性論 災害看護 こころの健康を支える看護 リフレクション論 地域での生活を支える看護Ⅱ リハビリテーション看護Ⅰ・Ⅱ 高齢者の健康を支える看護 こどもの看護特性論 母性の看護特性論 こどもの健康を支える看護Ⅰ・Ⅱ 母性の健康を支える看護Ⅰ・Ⅱ クリティカルケアⅡ セルフマネジメントⅠ・Ⅱ 看護の錬磨演習 専門職連携	看護倫理と安全Ⅱ 看護マネジメント 看護の探究Ⅲ 臨床判断 がん看護 エンドオブライフケア
臨地実習	看護のはじまりの実習 入院生活と看護を知る実習 入院生活を支える実習 地域を知る実習 看護を考える実習	高齢者の生活を支える実習 回復期を支える実習Ⅰ 地域での生活を支える実習	回復期を支える実習Ⅱ 急性期を支える実習 こどもの健康を支える実習 母性の健康を支える実習 こころの健康を支える実習 看護の統合実習



演習風景

「安心して勉学に励めます」



学生の声

私がこの学校を選んだ理由は、病院と廊下で繋がっており効率よく実習ができること、先輩方の言葉や雰囲気の魅力を感じたこと、そして卒業生からの先生の評判が良かったからです。また、幼稚園から今も続けているピアノが玄関ホールに置いてあり運命を感じました。学校祭で連弾をしたり帰り際にちょこっと弾いたりしています。

先生方は生徒一人ひとりを大切にしてくださっているので、何かあったときもすぐ相談でき安心して勉学に励むことができます。病棟実習では、患者の疾患について放課後に対面で教えてもらいました。先生やクラスメイトの温かい心で支えてもらいながら、しんどい実習も一つひとつ乗り越えてきました。サポートが手厚い先生方と自信に満ち溢れた仲間たちに囲まれ勇往邁進できる学校で学べて幸せです。

29期生 北村百禾

「子育てしながら通っています」

私は、子育てをしながら学校に通っています。入学する前は、友達ができるか、勉強についていけるか不安でいっぱいでした。

入学してみると授業ではグループワークが多く、自然とクラスの人と話す機会が多いです。みんな明るく優しい人ばかりで、たくさんの友達ができました。

先生方の指導も丁寧で、根拠を考えさせ、実際の看護の現場で、学んだ知識をどのように生かすのかを教えてくれるので、看護師になる意欲が自然と高まっていきます。演習では、先生がポイントを分かりやすく指導し、デモンストレーションしてくれるので、実技の指導も手厚いです。

課題が多く、実習もあり、多忙になることもありますが、その分友達で支え合っていくので、絆も深まりますし、協力して乗り越えていけると思っています。先輩方も優しく支えてくれますし、本校で頑張っていれば、素晴らしい看護師になれると確信しています。本校に入学して、本当に良かったと思います。

これからも先生方の指導に感謝し、頑張っていきたいです。

30期生 松本由香子



学生の声

「誰かを助けたいという思いが、 未来の誰かを救えるはずです」



卒業生の声

私は阪神淡路大震災の年に兵庫県で生まれました。宝塚には縁もゆかりもありませんでしたが、家族からの勧めもあり、この看護学校に入学しました。慣れない土地や初めての一人暮らしに四苦八苦しながらも、私の事を気にかけてくれる先生や同級生のおかげで何とか乗り越える事ができました。

現在、私は宝塚市立病院の救急医療センターで勤務しています。兵庫県災害支援ナースを取得し、令和6年能登半島地震の際には災害支援ナースとして金沢に支援に行きました。震災の年に生まれた私が、被災地へ支援に行くという経験を、病院とは異なる環境に居る方たちと関わらせて頂きました。誰かを助けたいという思いが、未来の誰かを救えるはずです。ここは、そんな気持ちを育んでくれた学校だと思います。兵庫県災害支援ナース 19期生 向井 楓



「学生の未来を いつまでも応援してくれる学校」



卒業生の声

宝塚市立看護専門学校は、学生の未来をいつまでも応援してくれる学校です。

私は、当校を卒業後、大学（同志社大学社会福祉学科）へ進学しました。その後、大阪の救命センターへ就職し、救急看護や災害看護を学び、大学院（関西学院大学総合政策科）へ進学しました。

今は、宝塚市内で訪問看護ステーションを立ち上げて奮闘しています。

このような紆余曲折の中、いつも母校には相談に行きます。先生方はいつも親身に相談に乗ってくださり、的確なアドバイスをしてくれます。同級生、後輩、先輩の結束も強く、看護師として働き始めてからも心強い味方となってくれます。

当校が、これからも地域の医療を支える看護師を輩出し続けることを願っています。

訪問看護ステーション結 17期生 芝 理仁

■学校行事



入学式

新年度開始

4 入学式



学生交流会



野外活動（2年次）

5
6

オープンキャンパス



7
8
9

夏休み



戴帽式（1年次）



轍祭（学校祭）

10
11
12

冬休み



ケーススタディ発表会（3年次）



卒業式

1
2
3

看護師国家試験

卒業式

看護師国家試験
合格発表

春休み

- 前期 4月～9月
- 後期 10月～3月
- 休業日 土・日曜日・祝日
- 創立記念日
- 夏季休暇 6週間以内
- 冬季休暇 2週間以内
- 春季休暇 2週間以内

■学内案内



4F ・基礎看護実習室
・家庭看護実習室
・成人看護実習室
・小児母性看護実習室



4F 家庭看護実習室



4F 成人看護実習室



4F 小児母性看護実習室

3F ・普通教室
・視聴覚室
・演習コーナー



3F 視聴覚室



3F 演習コーナー



3F 普通教室

2F ・図書室
・研究室
・セミナー室
・調理実習室



2F 調理実習室



2F 図書室

1F ・校長室 ・講師控室
・職員室 ・玄関ホール
・会議室 ・学生相談室
・保健室 ・学生更衣室



1F 玄関ホール

■沿革

平成5年 6月	宝塚市議会において宝塚市立看護専門学校設立を決定
平成5年12月	厚生省に看護婦養成所の設置計画を提出
平成6年12月	保健婦助産婦看護婦法の看護婦養成所の指定
平成7年 3月	公立専修学校専門課程の認可
平成7年 4月	宝塚市立看護専門学校開校
平成23年 4月	1学年の定員を50名から40名に変更
平成26年10月	専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座に指定
平成29年 9月	専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座の指定取り下げ
令和元年 9月	大学等における修業の支援に関する法律(令和元年法律第8号)による就学支援の対象機関となる

■学校からのメッセージ

本校は、平成7年(1995年)、阪神淡路大震災の年に開校して以来、その復興と共に歩み、先を見据えた宝塚市の地域医療に貢献する質の高い看護師の養成を目指しています。人としてのやさしさを育み、看護師に必要な知識・技術、判断能力を養う中で、社会人基礎力としての前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力がともに身につくよう、一人ひとりを支援します。例えば授業では、リアリティのある教材を活用しながら、ディスカッションにより、個人の意見を大切に、よりよい結果を導き出すプロセスを経験し、より実践に即した展開を工夫しています。また、創造性を磨き、自分で考え行動する力が発揮できるよう学生自治会活動を支援、行事・ボランティアにも力を入れています。さらに、社会のニーズに応えキャリアアップしていくことができるように、教育環境を整え、卒業後までサポートしていきます。

宝塚市立看護専門学校ホームページ



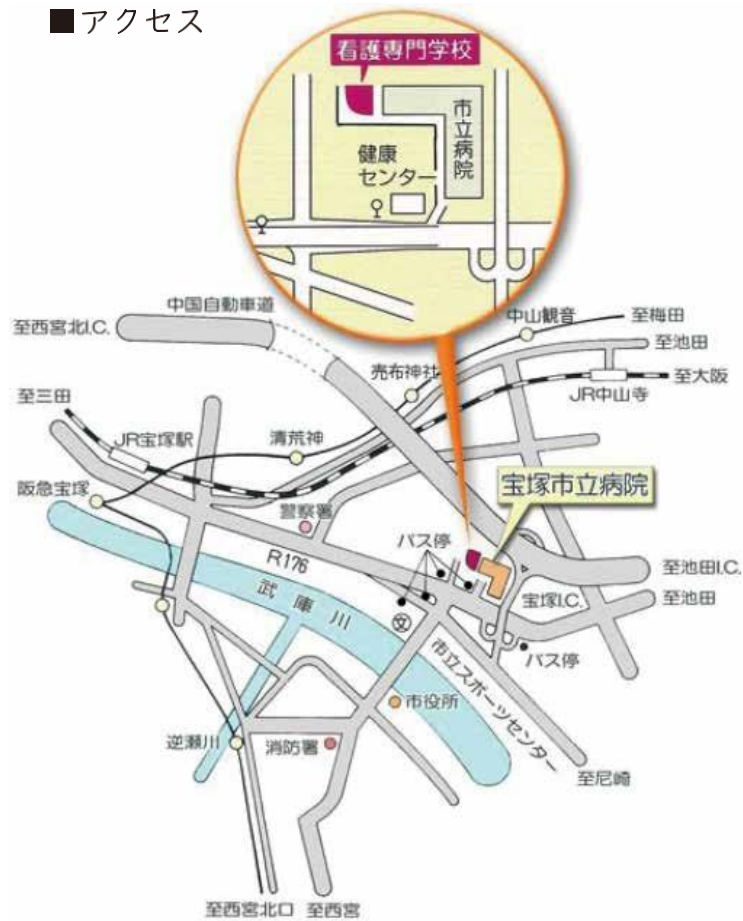
<https://www.city.takarazuka.hyogo.jp/kango/index.html>

宝塚市立看護専門学校公式 Instagram



TAKARAZUKAKANGO

■ アクセス



■ JR・阪急宝塚駅から

阪神バス 小浜又は宝塚市立病院前停留所下車



宝塚市立看護専門学校

〒665-0827 兵庫県宝塚市小浜4丁目5番5号
TEL: 0797-84-0061 FAX: 0797-84-1021



2025.1/2000